

# れんら君 + 昭和測器製 振動センサ

## 変換設定

※メール設定サービスをご選択のお客様は弊社で本設定を行ってから出荷させていただきます。

### ● 振動センサの変換設定例

下図の赤枠の箇所を下記のとおり設定してください。

- ・「下限値」: センサが0Vを出力するときの計測値 → 「- 25」
- ・「上限値」: センサが5Vを出力するときの計測値 → 「100」
- ・「単位呼称」: センサの計測値の単位 → 「m/s2」

概要

ユニット定時動作条件設定

ユニット監視通報条件設定

ネットワークパラメータ設定

日時修正

E-Mailパラメータ設定

E-Mailテスト発行

機器保守情報設定

れんら君Mailモニタ

### ユニット定時動作条件設定

平均化処理種別の選択パラメータ設定によりアナログChannel毎の平均化処理種別の選択、各平均化処理の設定パラメータ、及び取得データのスケールリング実行可否とそのパラメータの設定を行う

Channel測定・定時通報パラメータ設定により登録メールを使用して下記の定時通報が行える

- ・指定間隔で測定データを定時通報
- ・指定間隔で測定平均除外データとユニット監視通報で設定した条件による上・下限条件検出測定値を定時通報

(Channel選択を除き、マウスカーソルを項目強調文字上でシングルクリックさせると詳細を表示/非表示)

設定Analog Channel選択: Channel00

平均化処理種別の選択 (Default: 単純平均[回数]) と関連パラメータ設定  
(下記の選択した平均化条件により平均したデータが逐次収集される)

1.  単純平均 (回数)  
平均化の回数入力(256max.): 1
2.  単純平均 (時間)  
平均化の時間幅入力: 1  
(「1」sec単位で60分「3600」max.)
3.  移動平均  
平均化の移動回数入力(max.128): 1
4.  Raw DATA  
平均処理を行わず入力値をそのまま取り込む

スケールリング可否の選択 (データを任意の値に換算; チェックマークで実行無し)  
スケールリング実行時のパラメータ設定(「0」は該当フィールド未使用)

下限値(32767 ~ -32768) -25 : 「0」に対するスケール変換割当て値  
上限値(32767 ~ -32768) 100 : 「max.」に対するスケール変換割当て値  
単位呼称 (max. 10文字) m/s2 「変換値」の単位呼称「Default単位 (シャドウ表示)」  
ADC「1」カウント辺りのスケールリング換算値 (0.0049 m/s2/count)  
「1」スケールリング値辺りのADCカウント換算値 (204 count/m/s2)

### <注意>

- ・ 設定を変更した場合、必ずページ下部の『SET』を押して変更を保存してください。  
その後れんら君に変更を反映させるために『機器保守情報設定』画面の『Reboot』ボタンを押してください。
- ・ 単位呼称に全角文字や機種依存文字は設定できませんので「℃」、「度」などは設定できません。  
下限値、上限値に小数は設定できません。
- ・ この設定は、UNC-RP41A1 (0~20mA入力仕様アナログれんら君)とMODEL-2502-01 (昭和測器製振動センサ)の例です。その他の仕様の製品を使用される場合は、製品の仕様書をよく読み適切な設定を行ってください。